

全国の医療者をネットでつなぐ学習会

無料で参加できる「プライマリ・ケアレクチャーシリーズ/カンファレンス」

木村 追司 松前町立松前病院 院長

●きむら・しんじ氏

1989年札幌医大卒。横須賀米海軍病院, 茅ヶ崎・大和徳洲会病院での研修を経 て、91年より米国へ。家庭医療科レジデ ント、老年科フェローを経て、96年茅ヶ 崎徳洲会病院, 2000 年札医大地域医療総 合医学講座。05 年より現職。専門は総合 診療(家庭医療)。日本プライマリ・ケ ア連合学会副理事長、北海道ブロック支 部長を務める。

水曜の朝7時半、全国約80か所の病院や診療所でパソコンのスピーカーが鳴り出 す。「おはようございます。松前町立松前病院の△△です。プライマリ・ケアカンフ ァレンスの時間となりました。今日は京都府の○○病院によるケースシェアリングカ ンファレンスです。では,よろしくお願いします」。画面に講師の顔とスライドが映 し出されてカンファレンスが始まる。

「症例は 39 歳女性。主訴は関節痛。10 日前に発熱・頭痛・関節痛で当院救急外来 を受診し、内服薬処方で帰宅。2-3日で症状は改善しましたが……」。講師は現病歴 をひととおり提示すると「どんな質問をしたいですか?」と参加者へ問い掛ける。数 秒後、全国の視聴者からチャット画面に書き込みが入り始める。講師はそれらに答え ると、「現時点で考えられる鑑別診断は?」とさらに問い掛け。チャットには鑑別診 断が次々と並んでいく。この後,身体所見,検査結果,最終診断と続き,解説へ。最 後は質疑応答で締めくくり。午前8時、各施設から「○○病院7名参加。ありがとう ございました」「△△診療所1名」などの参加報告があり、終了──。

これは、当院が主体となって運営す るインターネット上の学習会の模様で す。毎週水曜日と木曜日の朝7時半か らの30分間、全国各地の医療機関や 個人をつないで、プライマリ・ケアに 関連する実用的な講義とカンファレン スである「プライマリ・ケアレクチ ャーシリーズ | と「プライマリ・ケア カンファレンス」を行っています。

インターネットの学習会は 世代と職種、地域を超えて

これらの学習会は, 医療関係者なら どなたでも無料で参加できるもので, 2015年6月時点で、43都道府県の 291 の施設や個人が登録しています。 診療所, 地方の中小病院, 都会の大病 院、大学病院など、あらゆる規模の施 設が登録しており、北は北海道の礼文 島、南は沖縄の宮古島まで広がってい ます。参加者の層も医学生、初期・後 期研修医,中堅からベテラン医師,医 療スタッフ (看護師,薬剤師,臨床検 査技師など)と幅広い顔ぶれです。毎 回の参加施設数は、水曜日は70-80 か所(推定約240人), 木曜日は90-115 か所(推定約300人)となってい

水曜日に行う「プライマリ・ケアカ ンファレンス」では、冒頭に提示した ようなケースシェアリングカンファレ ンス(症例共有会)や,症例の診断・ 治療などに関する一問一答形式の「症 例クイズ」、そして文献の抄読会を行 っています。参加している全国の診療 所,病院,大学がこれらを交代で担当 することで,大きなスケールで学習内 容の共有が可能になっています。

🏏 @igakukaishinbun

本紙編集室でつぶやいています。 記事についてご意見・ご感想をお寄せください。

また, 木曜日に行うのが「プライマ リ・ケアレクチャーシリーズ」で、プ ライマリ・ケアの実践にすぐに役立つ 内容の講義としています。講師はほと んどの場合, 各地の参加施設の医師が 担当。そのため、内容もバラエティー に富んでいます。最近の講義のトピッ クの例は以下のとおりです。

- ●「プライマリ・ケアのための骨関節 X線の読み方|
- ●「医師に知っておいてほしい口腔疾 患」
- ●「子どもの咳」
- ●「褥瘡」
- ●「30 分でわかる不整脈講座」

「いっそのこと、同時中継しよう」 から始まった

この取り組みが始まったきっかけ は、01-02年度の厚生科学研究「北 海道の地域医療における情報通信技術 を用いた生涯医療教育及び遠隔医療支 援」にまでさかのぼります。この研究 の中で, 札医大地域医療総合医学講座 (以下, 講座) と当院はテレビ電話を 用いて遠隔抄読会を開始し, その後, インターネットテレビ会議システムを 用いるようになりました。そして04 年に臨床研修が義務化された際、講座 内で始めることにした大学病院の研修 医向けの講義を「いっそのこと、イン ターネット上で同時中継しよう」と検 討。同年5月,「初期研修医向けレク チャーシリーズ」として開始しました。 いざやってみると、さまざまなス テージにある医師や他の医療職にとっ ても有用であることがわかり、半年後 には「プライマリ・ケアレクチャーシ リーズ」と改称。以後、さまざまな変 更を経て満11年。15年6月末時点で 通算 522 回を数えます。

さらに、レクチャーのみでは不十分 と考え,「プライマリ・ケアカンファ レンス」を05年10月に開始。こちら も,途中1年間の休止を挟んだものの,

通算 400 回以上を行ってい ます。

生涯学習の場として 発展

当院が運営の主体となっ たのは、2010年から。裏 方として運営を支えてくれ ているのが、講座(主催者) と, むかわ町国保穂別診療 所、参加者の皆さん、そし て札医大附属総合情報セン ターです。同センターがイ ンターネットセミナー用の

アプリケーション (V-CUBE セミナー) の費用を負担してくれていることか ら,これらの学習会の参加費は無料と なっています。それ以外の運営は全て 手弁当。各発表者にも無報酬で発表し ていただいています。

運営の大部分は当院の医師が担って いるため、負担が大きいのも事実。カ ンファレンスの担当施設の割り当てや レクチャーの講師の依頼も結構な手間 ですし、本番前のリハーサルにも長い 時間を掛けています。そのぶん、膨大 な経験やノウハウを蓄積しています。 毎回事前にリハーサルをしていても, 年に数回は接続のトラブルに見舞われ ます。そんなときも参加者の皆さんは 温かい目で見守ってくれております。

これらの学習会については、総じて うれしい声をいただいています。「内容 が多岐」「頑張っている仲間がいると わかる」「へき地離島でも生の声の情 報を得られ、非常に有意義」「フラッ トな関係で議論できる」「地域医療や 総合診療に興味・理解のある方の集ま りという方向性がよい」「製薬会社主 導でない点がいい」等々。生涯学習の場



●プライマリ・ケアカンファレンス時の画面イメージ 左上に講師、左下にチャット画面、右にスライドを 表示。視聴者の発言を拾いながら、インタラクティ ブな形で進められる。

> として徐々に発展してきたことを感じ ていますが、参加者の皆さんと共に作 り上げてきたものといえると思います。

プライマリ・ケアの質向上も 視野に

なぜ、この取り組みを続けてきてい るのか。それは、総合診療医(家庭医) やその他の医師, 医療スタッフなどが どこにいても学ぶ機会が得られるよう にするため。また、自前でカンファレ ンスを行うのが難しい医療機関にその 機会を提供するため。さらには、都会 や地方のたくさんの医療機関がつなが るため、です。今後、さらに多くの医 療者と共に学び、知識や経験を共有す ることにより、プライマリ・ケアの質 を高めていくことにも貢献したいと考 えています。ゆくゆくは、ビデオオン デマンドの導入, 資料のデータベース 化なども目指していきます。

全国の仲間と共に学ぶ「プライマ リ・ケアレクチャーシリーズ」「プラ イマリ・ケアカンファレンス」で、皆 さんも一緒に勉強してみませんか?

●「プライマリ・ケアレクチャーシリーズ/カンファレンス」に参加希望の方へ

下記の情報を記載の上、松前町立松前病院(mitu haru@forest.dti2.ne.jp) にメールでお申込みくだ さい。1週間ほどで ID とパスワードを発行させて いただきます (担当:吉野光晴内科部長)。

①施設名

(個人参加の場合は氏名 ※できれば所属も)

②都道府県・市町村名

③担当者名(個人の場合は氏名)

④参加登録用メールアドレス

(hotmail はご遠慮ください) ⑤連絡用メールアドレス

(確実に連絡のとれるアドレスを。連絡用メー リングリストに登録させていただきます)

⑥雪託釆号 (確実に油終のとれる釆号を)

⑦参加のきっかけ(例:「週刊医学界新聞で読んだ」など)

さらに新章を追加し、バージョンアップ

盾環器急性期診療

▶雑誌「INTENSIVIST」の循環器関連特集号(「不整脈」「急性心不全」「急性冠症候群」など)に最新の知見を踏まえて加筆、さらに新章を追加し全95章に再編

重症循環器疾患の急性期管理を網羅。初療室からCCU/ICUを経て退院に至 る過程の中で、患者の病態の把握や治療指針の決定に真に役立つ知識を提供。常

現場で"本当に"役立つ知識とは?

雑誌『INTENSIVIST』の循環器関連特集号を再編集、

※詳細は, 札医大地域医療総合医学講座ウェブサイト(http://web.sapmed.ac.jp/chiiki/)ご参照ください。



●松前町立松前病院一同で(筆者は奥 左から2番目)でお待ちしてます。

世界的スタンダード「カプラン」の薬物ガイド、最新版の邦訳

エビデンスに基づく向精神薬療法

Kaplan & Sadock's Pocket Handbook of Psychiatric Drug Treatment 6th Edition

▶Kaplan&Sadockによる精神科の定本「カプラン臨床精神医学テキスト」の簡便な 手引書と対をなす精神科薬物力イド、最新版、薬物療法の基本をおさえつつ、各薬剤に 関し、作用機序ごとに臨床に即した実践的な使用法を解説。特に有害作用や薬物相互 作用に関する情報が充実。最新のエビデンスに基づき内容を更新し、新薬を追加収 録。精神科医を目指す研修医、専門医や精神保健関連職種はもちろん、向精神薬を処 方する一般内科医、プライマリケア医にも有用。



監修:神庭 重信 九州大学大学院医学研究院精神病態医学教授 監訳:山田 和男 東京女子医科大学東医療センター精神科教授 黑木 俊秀 九州大学大学院人間環境学研究院人間科学部門教授 定価:本体5,800円+税 A5 368頁 図1 2015年 ISBN978-4-89592-819-9

な状況を克服するための一助ともなる書。 編集: 香坂俊 慶應義塾大学医学部循環器内科

に迅速かつ的確な判断が求められる循環器、急性期に関わる医師にとって、困難 定価: 本体9.200円+税 B5 864頁 図278·表187·写真88 2015年 ISBN978-4-89592-814-4

循環器急性期診療

==香坂 俊

MEDSi メディカル・サイエンス・インターナショナル 113-0033 東京都文京区本郷1-28-36